

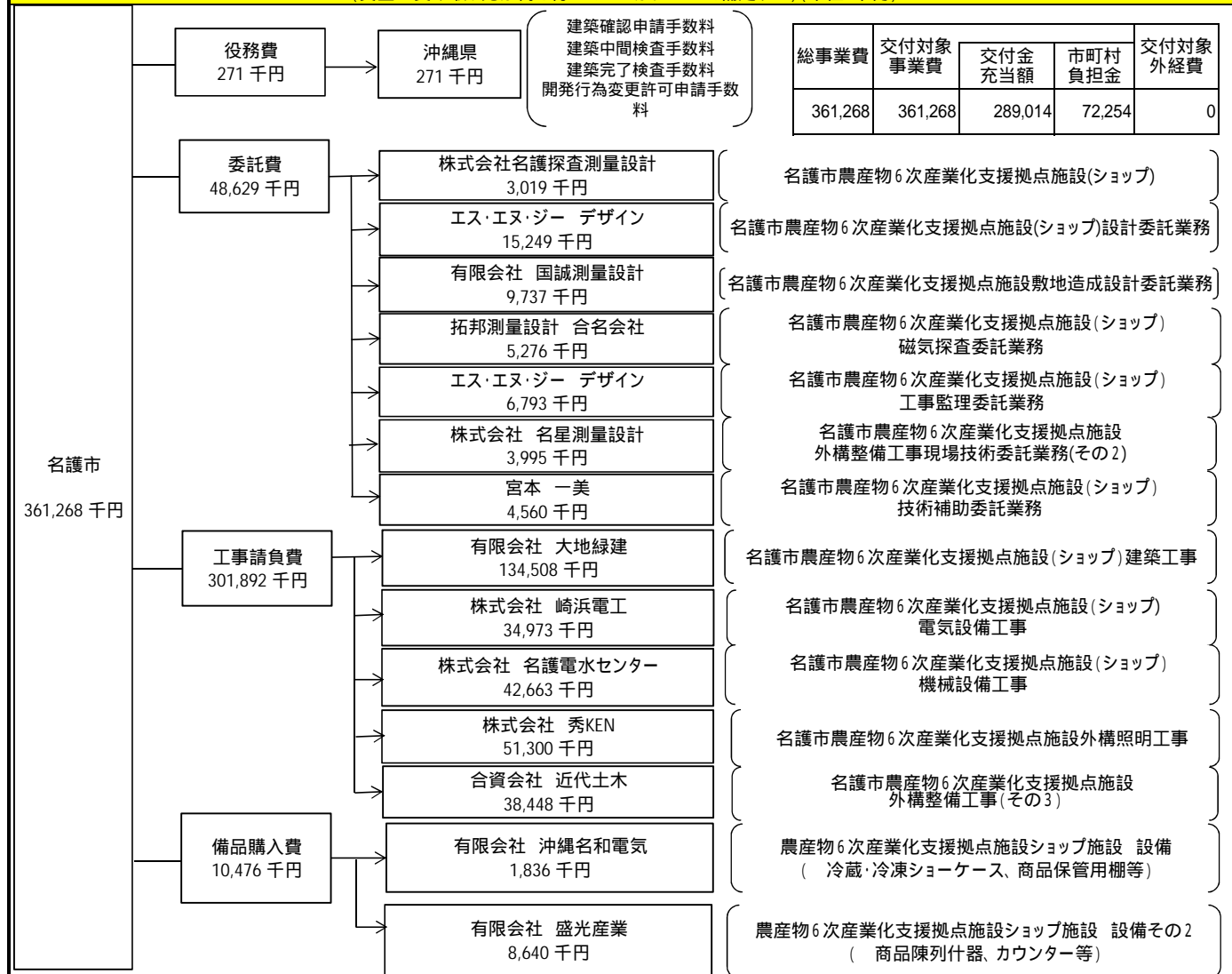
市町村名		名護市										
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	2 - 農産物6次産業化支援拠点施設整備事業(アグリパーク)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-キ							
	産業部 農政畜産課		事業実施(予定)年度 平成24~26年度		フロンティア型農林水産業の振興							
担当部署名			沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(6)							
事業内容	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。											
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()											
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		24年度(繰越)		25年度		25年度(繰越)		26年度		
		(a)当初予算額	658,738	-	688,173	-	466,264	-	463,245	-		
	(b)予算現額	692,054	-	688,173	-	466,264	-	463,245	-			
	(c)増減額(b-a)	33,316	-	688,173	-	0	-	463,245	-			
	(d)繰越額	-	-	688,173	-	-	-	463,245	-			
	A.計(b+d)	692,054	-	688,173	-	466,264	-	463,245	-			
	B.執行済額	3,881	-	669,068	-	3,019	-	358,249	-			
	うち交付金充当額	3,104	-	535,255	-	2,415	-	286,599	-			
	次年度繰越額	688,173	-	-	-	463,245	-	-	-			
	執行率(%) (B/A)	0.6%	-	97.2%	-	0.6%	-	77.3%	-			
予算の状況の説明	施設全体の運営管理を予定していた事業者が、平成25年5月に撤退し、新たな管理者の選定が10月となった。また、新たな管理者より、本施設の管理運営内容を検討するにあたり、各分野の専門家の意見を取り入れた基本計画の作成が必要不可欠であるとし、平成25年11月から平成26年3月までの期間で当該施設全体の基本計画が作成され、市に提出された。ショップ施設の実施設計は、当初、平成25年11月から平成26年3月までの予定だったが、基本計画作成と同時に並行で行われたことから、基本計画の進捗に伴い、変更・修正が繰り返し行われ、不測の日数を要したため繰越となった。不用額は、入札残等によるものであり問題ない。											
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況									
			25年度		26年度		27年度		28年度			
	観光農園施設の敷地造成設計、土質調査、建築設計等及び土木工事並びに建築工事の実施	目標	()		()		()		()			
		実績	敷地造成設計、土質調査、建築設計、土木工事、建築工事		ショップ施設の敷地造成設計、土質調査、建築設計、土木工事、建築工事							
		目標	()		()		()		()			
	実績											
達成状況説明	平成25年度の当該事業については、当初計画していた造成面積の減(4.8 ha → 4.3 ha)、観光農園ハウス設備の見直し等により、ショップ施設を優先的に整備する内容とした。ショップ施設設計委託業務、敷地造成設計委託業務、土質調査委託業務、磁気探査業務を実施し、完了することができた。											
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)		25年度(2-)		26年度		27年度		目標値(28年度)	
	観光農園施設の敷地造成設計、土質調査、建築設計等及び土木工事並びに建築工事の実施	目標	()		敷地造成設計、土質調査、建築設計、土木工事、建築工事		()		()		()	
		実績	/		ショップ施設の敷地造成設計、土質調査、建築設計、土木工事、建築工事		/		/		/	
	[参考指標]	目標	()		()		()		()		(30,000人)	
	なごアグリパークグランドオープン(平成28年度)後のショップ施設来場者数	実績	/		/		/		/		/	
進捗状況説明	平成25年度の当該事業については、当初計画していた造成面積の減(4.8 ha → 4.3 ha)、観光農園ハウス設備の見直し等により、ショップ施設を優先的に整備する内容とした。ショップ施設の建築工事、電気設備工事、機械設備工事、外構整備工事(その3)、外構照明工事に着手し、平成26年度中に完成した。ショップ施設は、平成27年4月から供用開始する。今後、本施設では、名護市産の6次産業化商品を中心に、生産者の顔が見える販売施設として、県内外の利用客へ効果的な商品PRを行う。また、なごアグリパークがグランドオープンとなる平成28年度には、ショップ施設の入場者目標数を30,000人として設定する。											

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>本事業では、施設管理者の変更から、基本計画の見直しが行われたため、実施設計業務において予定以上の時間を要した。また、磁気探査業務では、異常点(磁気反応)が検出されたため、当初想定していなかった確認探査を追加した結果、鉄筋コンクリートガラの地中障害物が多数発見され、障害物の撤去作業の追加、作業効率の低下により、不測の日数を要した。このような状況において、工事を完了させるために、各工事における工程会議や連絡調整を密に行い、さらに各工事間の情報共有を積極的に行ったことにより、各種業務を完了することができた。</p>	<p>事業関係者との内容調整について、当該業務に直接的に関連する部分を優先的に検討し、実施設計へ反映させる必要があった。また、各種業務における不測の事態(今回の磁気探査業務における地中埋設物の処理)に関しては、後に控える業務への影響が最少となるよう配慮が必要である。</p>

今後の取り組み方針

今後の事業執行において、事業関係者との調整においては、直接業務と関連する部分に絞った内容を優先的に進め、遅滞なく業務を進行させる。また、各種業務の不測の事態に対しては、最終工程となる工事等において、弾力を持たせた工期を設定することで対応可能となるよう計画したい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>ショップ施設は、他施設も含めた施設全体を安全に管理するためのスペースや機器を有するため、その内容を欠くことなく建築工事に反映させるため、工事監理委託業務は、設計業務を担当した業者と随意契約を締結した。それ以外の業者選定は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>予算規模は、設計額確定時に確認し、適正であったと考えている。</p> <p>費目・使途に関して、いずれも事業目的達成のために必須であり、適正であったと考えている。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		名護市					
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 羽地地域直売加工施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-イ		
	流通・販売・加工対策の強化		事業実施(予定)年度		平成24～25年度		
担当部署名	産業部 農政畜産課		沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(6)		
事業内容	羽地地域に農産物、畜産物、水産物等の直売加工施設を整備し、生産者の所得向上及び生産意欲向上による担い手の確保や新規雇用効果により、同地域の経済・産業の活性化を促進する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	24,152	-	421,144	-	
		(b)予算現額	24,152	-	421,144	-	
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	-	
		(d)繰越額	-	24,152	-	420,896	
		A.計(b+d)	24,152	24,152	421,144	420,896	
	B.執行済額		0	23,634	248	403,894	
	うち交付金充当額		0	18,907	198	323,116	
	次年度繰越額		24,152	-	420,896	-	
	執行率(%) (B/A)		0.0%	97.9%	0.1%	96.0%	
予算の状況の説明		当事業区域にかかる保安林帯の解除及び開発申請許可手続きを行う際の関係機関との調整に不測の日数を要したため、平成25年度の建築工事等が遅れ、平成26年度での竣工となった。不用額は、入札残等によるものであり問題ない。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	敷地造成及び直売加工施設の建築	目標	敷地造成及び直売加工施設の建築	()	()	()	()
		実績	敷地造成及び直売加工施設の建築				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当事業区域にかかる保安林帯の解除及び開発申請許可手続きを行う際の関係機関との調整に不測の日数を要したため、繰り越しを行うこととなったが、当初計画のとおり直売加工施設の建築を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	敷地造成の実施及び直売加工施設建築の実施	目標	()	敷地造成の実施及び直売加工施設建築の実施	()	()	()
		実績		敷地造成の実施及び直売加工施設建築の実施			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	当事業区域にかかる保安林帯の解除及び開発申請許可手続きを行う際の関係機関との調整に不測の日数を要したため、繰り越しを行い、平成26年度において建築工事等の着手及び竣工となった。直売施設の完成により羽地地域の経済・産業の活性化が促進される。					

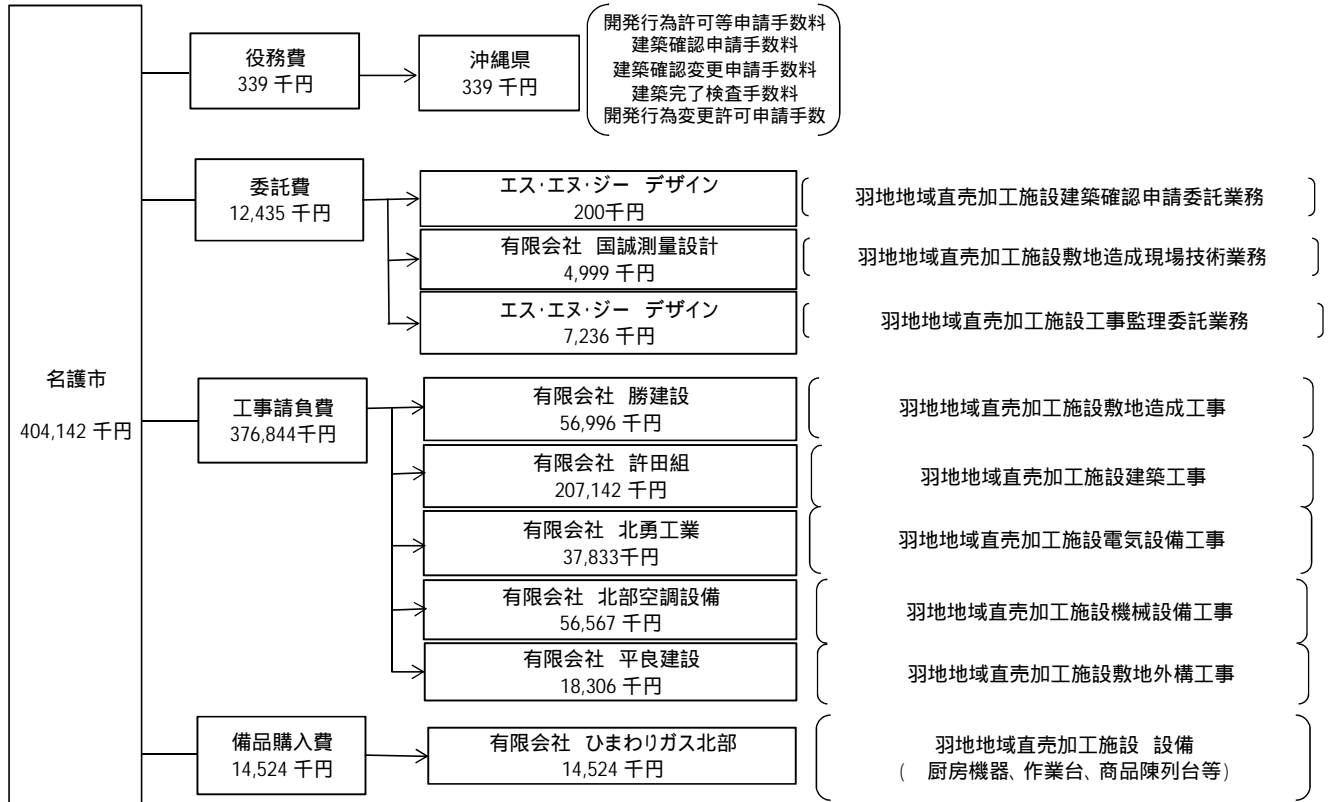
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当事業区域にかかる保安林帯の解除及び開発申請許可手続きを行う際の関係機関との調整に不測の日数を要したため、繰り越しを行い、平成26年度において建築工事等の着手及び竣工となった。	保安林帯の解除や開発申請許可の手続き等は、専門的な知識や図面作成能力等の技術が必要とするため、その情報収集や図面作成等の業務に時間を要したが、これはそのような専門的知識・技能を有する者がいなかったためであった。それを踏まえ、技術者を配置した結果、施設整備の段階では業務が改善された。

今後の取り組み方針

今後の業務執行における専門的な知識・技能が必要な部分については、専門家を確保(業務発注、もしくは庁内での執行依頼等)し、速やかな事業執行を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
404,142	404,142	323,314	80,828	0



資金の流 れ、費 用目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	本市の委託先選定のプロセスを忠実に実施した上での受託者選定をしており、妥当であったと考える。 予算規模は、設計額確定時に確認し、適正であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		名護市					
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 名護市堆肥センター機能高度化施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-ア		
	産業部 農政畜産課		事業実施(予定)年度 平成25～26年度		おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(6)		
事業内容	堆肥の活用による田畑の土づくりや、家畜の糞尿処理などの環境保全により、畜産業等と地域との調和を保ち農産物の生産向上に寄与する名護市堆肥センターを整備する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	40,230	-			
		(b)予算現額	40,230	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	23,093			
		A.計(b+d)	40,230	23,093			
	B.執行済額		17,137	23,077			
	うち交付金充当額		13,705	17,173			
	次年度繰越額		23,093	-			
	執行率(%) (B/A)		42.6%	99.9%			
予算の状況の説明		基本設計における施設規模の算定として、市内農家の意見集約に不測の日数を要したため、繰越することとなったが、堆肥センター整備に係る基本設計、実施設計、外構設計、地質調査を全て実施し、執行率についても問題はない。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	基本設計及び実施設計の実施	目標	(基本設計及び実施設計の実施)	()	()	()	
		実績	基本設計及び実施設計の実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	基本設計業務において、畜産農家へのアンケート等に不測の日程を要したため、平成26年度に繰り越した。活動目標に掲げた基本設計及び実施設計は、全て完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	基本設計及び実施設計の実施	目標	()	(基本設計及び実施設計の実施)	()	()	()
		実績		基本設計及び実施設計の実施			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	完了した実施設計に基づき堆肥センターの機能高度化を実施し、農産物の生産向上や環境保全を図っていく。					

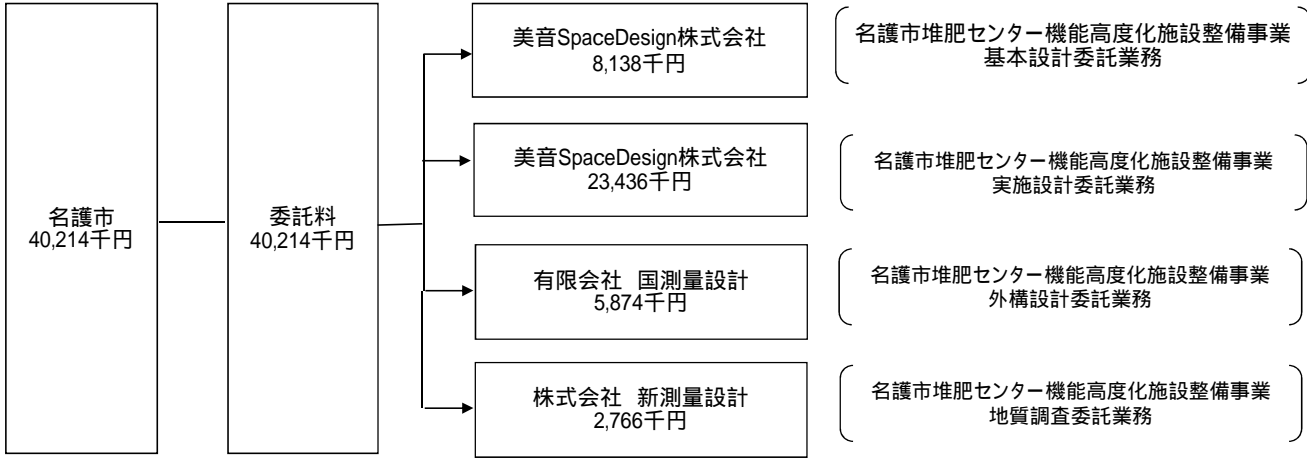
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	基本設計を実施するにあたり、農家アンケート及び畜糞サンプル採取に不測の日数を要した。	建築工事等の実施にあたっては、関係機関との調整を図りながら、早期着手、早期竣工に努める必要がある。

今後の取り組み方針

今後は、建築工事など施設整備がメインになってくるので、関係機関との調整に努め、早期着手、早期竣工に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
40,214	40,214	30,878	9,336	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価、 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	本市の委託先選定のプロセスを忠実に実施した上での受託者選定をしており、妥当であったと考える。 予算規模は、実際の設計額確定時に確認し、適正であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	名護市
------	-----

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3 - 轟の滝周辺整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ 圏域の特色を生かした産業の振興
担当部課名	建設部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容
貴重な文化財である轟の滝の豊かな自然環境を保全・活用し、やすらぎと潤いある自然空間の実現に向けた整備を行い、魅力ある観光スポットとして、まちの活性化、観光振興に繋げる。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	19,610	-	54,510	-
		(b)予算現額	19,610	-	54,510	-
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	-
		(d)繰越額	-	19,155	-	54,069
		A.計(b+d)	19,610	19,155	54,510	54,069
		B.執行済額	455	19,154	441	54,059
		うち交付金充当額	364	15,316	352	43,248
		次年度繰越額	19,155	-	54,069	-
		執行率(%) (B/A)	2.3%	100.0%	0.8%	100.0%
		予算の状況の説明	事業区域内の個人の用地買収について、対象地主との用地交渉が難航し不測の日数を費やしたために繰越を行うこととなったが、事業は適正に執行された。 なお、交付対象外経費9千円については、名護市の単独予算である。			

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度
		用地測量 用地買収 補償設計 物件補償	目標	(用地測量1件 用地買収10筆 補償設計1件 物件補償1件)	()	()
	実績	施設設計1件(平成24年度合併)、用地測量1件、用地買収9筆(うち契約1件4筆平成26年度合併)、補償設計1件、物件補償1件				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	用地交渉の進捗、予算の執行状況により当初予定していた活動目標の指標件数と差異が生じたものの、必要な活動については全て実施することができ、轟の滝周辺整備に向けて事業の進捗が図られた。なお用地買収については、平成25～26年度にかけ予定していた地権者から一括買収を終えたことから、両年度(平成25、26年度)において予算額の組み合わせが変わったために、筆数に変更が生じた。(平成26年度事業において当該1筆は購入済み)					

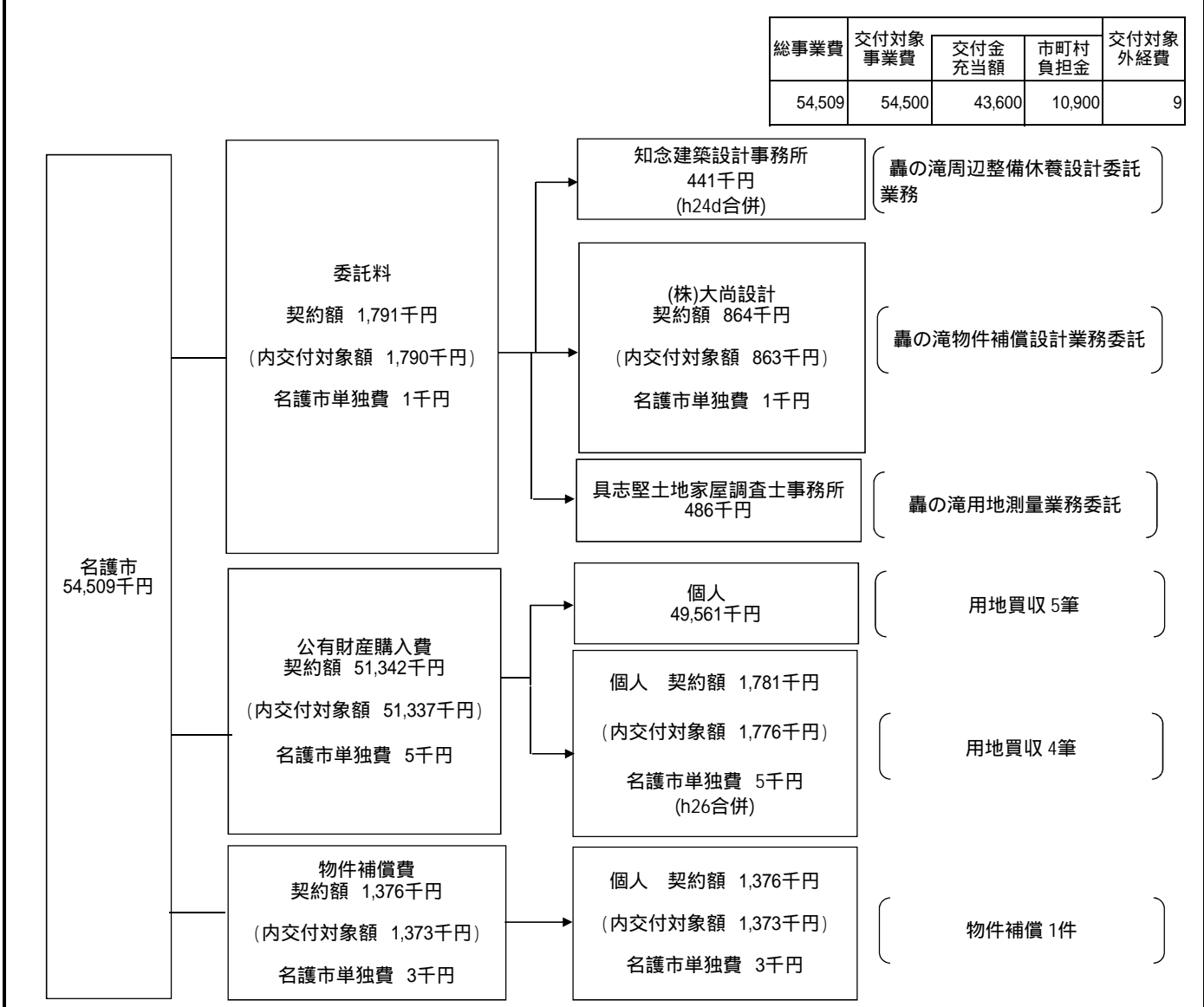
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)			
			用地測量 用地買収 補償設計 物件補償	目標	(-)	(用地測量1件 用地買収10筆 補償設計1件 物件補償1件)	()	()	()
				実績		施設設計1件(平成24年度合併)、用地測量1件、用地買収9筆(うち契約1件4筆平成26年度合併)、補償設計1件、物件補償1件			
	目標	()	()	()	()	()			
	実績								
進捗状況説明	当該事業用地の取得及び物件補償の事業執行を行った。用地買収については、平成25～26年度にかけ予定していた地権者から一括買収を終えたことから、両年度(平成25、26年度)において予算額の組み合わせが変わったために、筆数に変更が生じた。(平成26年度事業において当該1筆は購入済み)								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業区域内の個人の用地買収について、対象地主との用地交渉が難航し不測の日数を費やしたために、翌年度への繰越を行うこととなった。	当該事業においての地権者との交渉及び関連する調整相手との取組を密にし、確実に事業の進捗を図っていくよう努める。

今後の取り組み方針

平成26年度: 用地取得、施設設計(施設設計、管理施設)
 ・事業用地内5地権者中4地権者が複数の事業用地を所有していること、複数の用地に共同担保として抵当権が設定されていること、租税特別措置法に基づく所得税控除のため単年度内での用地取得の必要があるため平成25年度に引き続き、平成26年度予算にて当該地権者の用地の一括購入を行う。
 ・便所及び管理棟の施設設計を行う。
 平成27、28年度: 用地取得、周辺整備
 ・事業用地内の5地権者中1地権者について、用地取得を行う。
 ・周辺整備を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札及び随意契約(予定価格が限度額以内であるため適用)により適正に選定及び執行されたと考えている。 予算規模は事業の活動内容に応じた基準(積算基準、損失補償基準等)により額が算出され、適正であった。 費目・使途については、事業の活動内容に即し限定されているか、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	名護市
------	-----

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3 - 真喜屋運動広場整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ
担当部課名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24～27年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容
真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるよう多目的広場としての利用環境を改善する。

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

		24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	3,239	13,611	-		
	(b)予算現額	3,239	15,487	-		
	(c)増減額(b-a)	0	1,876	-		
	(d)繰越額	-	-	13,083		
	A.計(b+d)	3,239	15,487	13,083		
	B.執行済額	3,234	2,403	11,566		
	うち交付金充当額	2,587	1,922	9,253		
	次年度繰越額	-	13,083	-		
	執行率(%) (B/A)	99.8%	15.5%	88.4%		
予算の状況の説明	関係機関と測量設計の調整について時間を要したため当初計画よりも測量設計を遅れて実施し2,403千円を執行した。造成工事については、測量設計の遅れにより発注時期が遅れる見込みとなったため工事費に係る13,083千円を26年度に繰越した。不用額が発生しているが、工事請負費等の入札残による減である。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
		県資材ヤード代替地の測量及び造成工事	目標 (測量及び造成工事実施)	()	()
	実績	測量及び造成工事実施			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	真喜屋運動広場整備事業に伴う拡張用地取得に向けて、現存する沖縄県資材ヤードの代替地を設置するためH25年度に測量設計を実施した。関係機関との調整に不測の日数を要したため造成工事の着手時期が遅れ、H26年度に繰越し造成工事を完了した。				

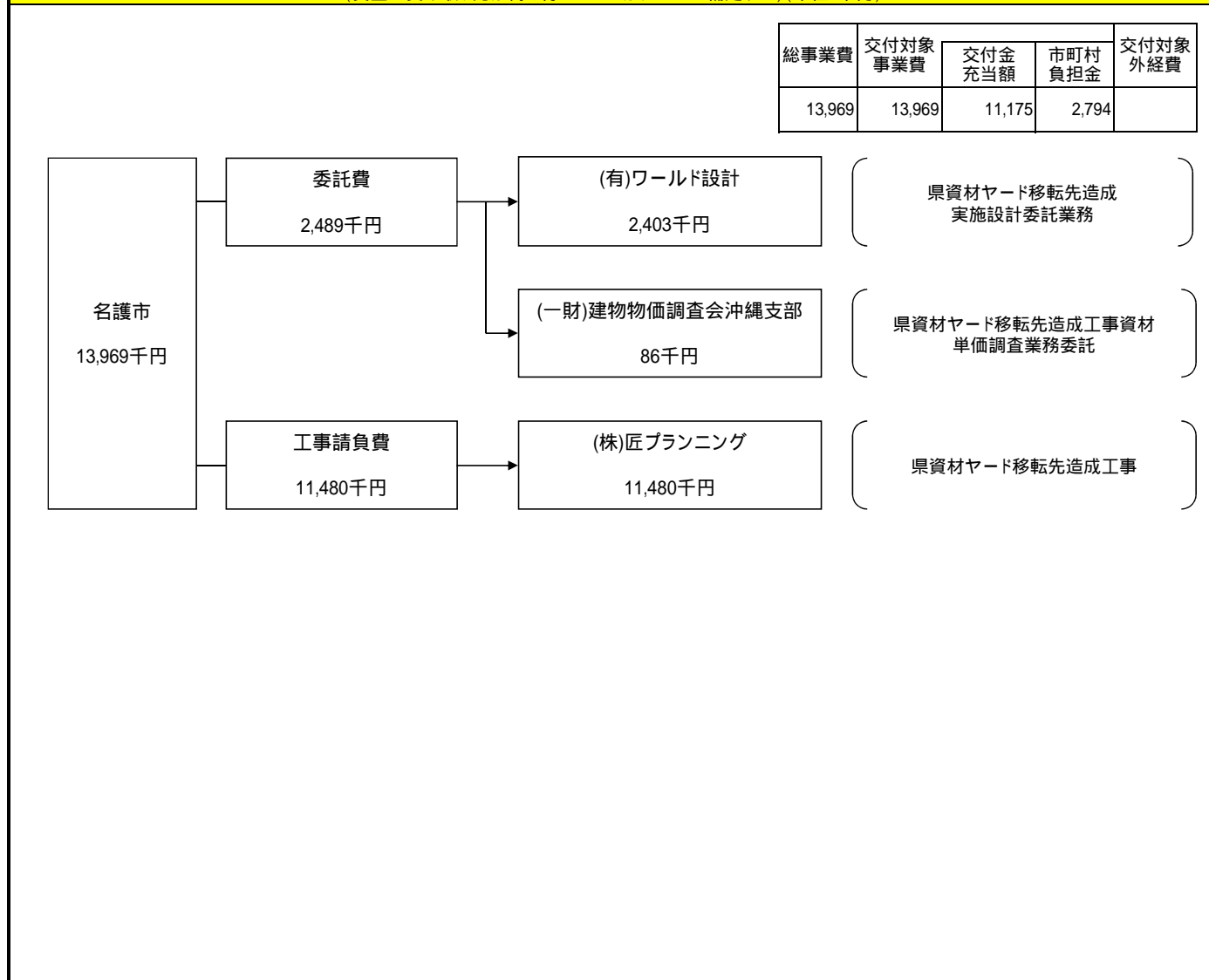
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)	
		県資材ヤード代替地の測量及び造成工事	目標 (-)	(測量及び造成工事実施)	()	()	(供用開始)
			実績		測量及び造成工事実施		
			目標	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	平成26年2月に県資材ヤード移転先の造成工事が完了したことにより、沖縄県と現存する県資材ヤード移転時期の調整を進めている。また、沖縄総合事務局及び県と用地取得に係る協議を進めている。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>沖縄県と県資材ヤード移転先造成工事に係る測量設計の調整について時間を要し、当初計画よりも事業が遅れることとなったため造成工事の着手時期が遅れ、H26年度に繰り越して県資材ヤード造成工事を実施した。今後、真喜屋運動広場整備に必要な拡張用地の取得、実施設計及び整備事業を実施予定であるが、以下の課題がある。</p> <p>拡張に必要な用地の取得手続。 沖縄海岸国定公園内の開発行為許可手続。 保安林の解除申請手続。</p>	<p>関係機関との調整に不測の日数を要したため事業計画に遅れが生じているが、今後、関係機関との連携を密にし、情報共有を図ることで事業の円滑な進捗を図っていく。</p>

今後の取り組み方針

H27年度に用地取得及び実施設計等を予定しているが、運動広場の拡張に必要な用地の取得手続、沖縄海岸国定公園内の開発行為許可手続、保安林の解除申請手続などの課題があるため、事業の進捗に時間を要することが懸念されており、関係機関との調整を図りながら手続を円滑に実施し事業推進に取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>基本的に指名競争入札方式により業者を適正に選定しており、資材単価調査については、契約規則に基づいた見積り合せ随意契約により契約を行っているため妥当である。</p> <p>予算規模は、当初測量業務と工事を見込み予算計上していたが、設計業務の必要が生じたため測量業務を造成工事に係る測量業務も含め実施設計業務に変更したこと、又工事設計額が当初見積額より増加していたことによる予算増を図っており、事業内容に適正な規模であると考えている。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成のために必要であり、適正であったと考えている。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	名護市
------	-----

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4 - 行政区単位版ハザードマップ作成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (4) - イ
担当部課名	総務部 総務課	事業実施(予定)年度 平成24～26年度	災害に強い県土づくりと防災体制の強化
		沖縄振興基本方針該当箇所	- 10 - (2)

事業内容	暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり等の各種災害から市民等の被害を軽減するため行政区単位版ハザードマップを作成する。
------	--

実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()
------	-----------------------

		24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	2,646	6,363	-		
	(b)予算現額	2,646	2,703	-		
	(c)増減額(b-a)	0	3,660	-		
	(d)繰越額	-	-	2,703		
	A.計(b+d)	2,646	2,703	2,703		
	B.執行済額	1,974	0	2,703		
	うち交付金充当額	1,579	0	2,162		
	次年度繰越額	-	2,703	-		
	執行率(%) (B/A)	74.6%	0.0%	100.0%		
予算の状況の説明	土砂災害警戒区域の位置確定に沖縄県が作成した地図データの一部欠落が判明し、その修正作業に不測の時間を要したため、年度内での事業完了が困難となり翌年度に繰越した。また、入札減による不用額3,660千円を予算減額した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	ハザードマップ作成数	目標	(5地区)	(23行政区分)	()	()
		実績	5地区	25行政区分		
	目標	()	()	()	()	
		実績				
達成状況説明	平成25年度事業においては、沿岸部に位置する22地区(25行政区分)のハザードマップを作成した。図郭の構成段階にて、当該行政区と隣接する行政区と一緒に掲載する事が可能となったため、次年度作成予定の2行政区を追加し作成となった。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		ハザードマップ作成数	目標	(0地区)	(5地区)	(23行政区分)	()
	実績			5地区	25行政区分		
	目標	()	()	()	()	()	
実績							
進捗状況説明	ハザードマップを該当地区の市民等に配布することにより、災害に強いまちづくりを推進する。また今回ハザードマップを整備した地区以外についても作成を進める。図郭の構成段階にて、当該行政区と隣接する行政区と一緒に掲載する事が可能となったため、次年度作成予定の2行政区を追加し作成となった。						

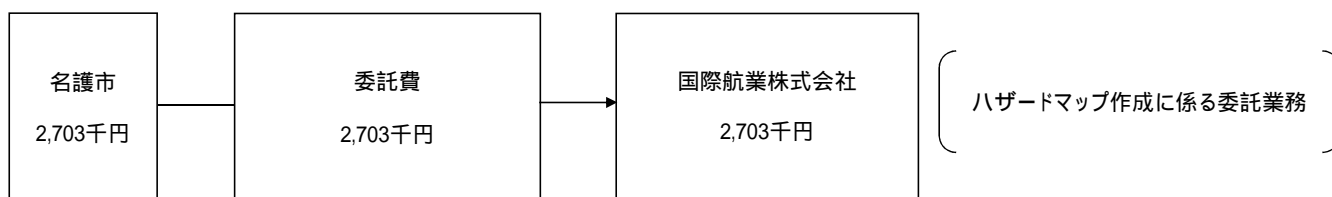
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	市沿岸部では、各公共施設等が浸水区域内であり、津波避難施設、津波避難場所の周知が重要と考え、ホテル等との津波避難施設としての協定を締結しハザードマップに記載した。	今後も市沿岸部や浸水区域内で避難が困難と予測される箇所においては津波避難施設、津波避難場所を検討し、ハザードマップにも記載し市民の安全・安心を図る。

今後の取り組み方針

各区の防災訓練及び自主防災組織での活用を推進し、名護市ホームページでの公開、一般家庭以外の事業所等への配布等を実施し、防災情報の周知を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,703	2,703	2,162	541	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は実績等を考慮したうえで選定し、指名競争入札により決定しており、妥当であったと考えている。 予算規模については、見積り金額及び前年度実績を踏まえ設定した。入札減に伴う不用額が発生したが、事業目的を達成し適正な規模であったと考えている。 費目・用途について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		名護市					
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 名護市自転車まちづくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(3)-ウ		
	低炭素都市づくりの推進		事業実施(予定)年度		平成24~27年度		
担当部課名	建設部 建設土木課		沖縄振興基本方針該当箇所		-10-(1)		
事業内容	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算の状況	(a)当初予算額	40,010	-	40,000	-	
		(b)予算現額	40,010	-	40,000	-	
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	-	
		(d)繰越額	-	24,347	-	21,658	
		A.計(b+d)	40,010	24,347	40,000	21,658	
	B.執行済額		15,663	23,803	18,342	21,658	
	うち交付金充当額		12,530	19,043	14,673	17,327	
	次年度繰越額		24,347	-	21,658	-	
	執行率(%) (B/A)		39.1%	97.8%	45.9%	100.0%	
予算の状況の説明		利用者の安全性を高めるため、当初の計画より幅員を広げることし追加設計を行う必要性が生じた。そのため、不測の日数を要したことから工事期間の延長を行い、工事費に係る21,658千円を26年度に繰越したが、事業は適正に執行された。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	自転車レーンの整備	目標	(1,120m)	(720m)	()	()	
		実績	1,120m	330m			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初計画の活動目標の設定については、予定路線の720mの整備を目標に考えていたが、追加設計等が生じたため、目標分の整備が不可能となり、330mの整備となった。 自転車レーンの整備としては、自転車レーン(モデルレーン)の整備が一部完了したことで、市民の自転車交通秩序に対する意識の向上に寄与する等、「自転車まちづくり」を推進した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	自転車のレーンの整備	目標	(0)	(1,120m)	(720m)	()	()
		実績		1,120m	330m		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	当初計画の活動目標の設定については、予定路線の720mの整備を目標に考えていたが、追加設計等が生じたため、目標分の整備が不可能となり、330mの整備となった。 今後も「自転車まちづくり」推進のため、自転車レーンの整備を実施する。					

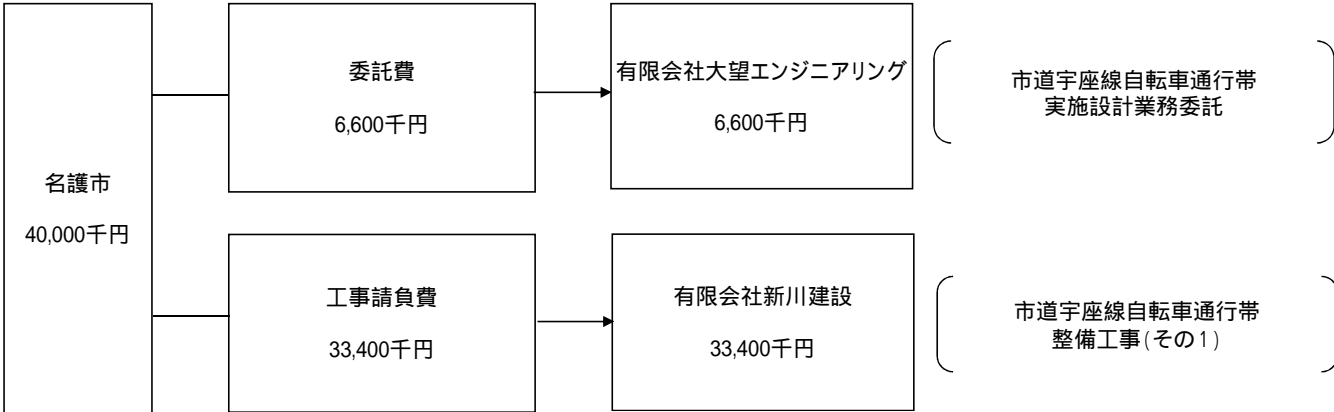
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初の計画から幅員を広げることとしたため、追加設計を行う必要が生じ、工事期間の延長につながり、目標より整備路線が縮小することとなった。	現地踏査等を行い、各路線の実態を十分に確認した上で整備計画を進める必要がある。

今後の取り組み方針

「自転車のまちづくり」推進のため、名護市自転車ネットワーク基盤整備に向けて引き続き整備を行うとともに、関係行政機関や地域と連携し自転車レーンの効果的な活用を図る。
 整備にあたっては、現場の状況を十分に把握し、円滑に事業執行が行えるよう努めていく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
40,000	40,000	32,000	8,000	0



資金の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	業者の選定及び入札等は指名競争入札により決定しており妥当であったと考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模は事業計画及び、執行可能な箇所を選定しており、適正な規模である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	